



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）5月25日号 No. 1562

目次

■ ロシアのメドヴェージェフ新内閣の読み方.....	服部 倫卓 1
■ トピックス	9
日産がロシアの生産能力倍増／9	
北海道銀がロシアのズベルバンクと提携／9	
矢崎総業、次世代コネクタをロシアに供給／9	
ブリヂストン、ロシアタンポポでタイヤ生産／9	
■ エトセトラ	10
『調査月報』2012年6月号のご案内／10	

ロシアのメドヴェージェフ新内閣の読み方

ロシアNIS経済研究所 次長

服部 倫卓

はじめに

ロシアでは、5月21日にD.メドヴェージェフ氏を首相とする新内閣が発足した。これで、V.プーチン大統領とメドヴェージェフ首相から成る新体制が、いよいよ本格的に始動することとなった。

今回の速報では、ロシア新政府の機構と人事に関し事実関係を整理してお伝えするとともに、いくつかの注目点を取り上げて論評を試みたい。

政府の機構改革

ロシアでは、内閣が交代する際に、単に人が入れ替わるだけでなく、行政機構改革も実施されるのが通例となっている。今回も、メドヴェージェフ首相の提案を受ける形で、5月21日にプーチン大統領が大統領令「連邦執行権力機構の構成について」に署名し、新政府の新たな省庁体系が打ち出された。それを図示したのが、後掲の図表1である。

ロシアの省庁体系では、「省」の下のレベルに「庁」および「局」が置かれている。省：政策立案、庁：執行、局：管理・監督、という役割分担となっている。そして、外交・国